「ロコモティブシンドローム（運動器症候群）」対策を

質問者　小　川　龍　美

日常生活に欠かせない運動機能が低下した状態の「ロコモティブシンドローム（運動器症候群）」は、要介護やねたきり高齢者の増加を招く恐れがある。国は「健康日本２１（第2次）」で、ロコモを知っている人の割合を２２年までに８０％に増やすことを掲げ、整形外科学会も予防のＰＲに努めている。運動機能の低下は２０代、３０代から始まっており、生活習慣の見直しなどで効果的な予防ができる。町も対策を講じるべきと考えるが。